

2021年1月8日

一般社団法人 日本広告業協会
会員社 協会ご担当者 各位

一般社団法人 日本広告業協会
専務理事 橋爪 恒二郎

新型コロナウイルス「緊急事態宣言」再発出下における安全な広告制作について

平素より当協会の活動に多大なるご支援とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

さて、年を明けても新型コロナウイルスの脅威は収まらず、この度、新たに関東一都三県に緊急事態宣言が発出されました。取り巻く状況は昨年4月の時点と違ってはいるものの、広告制作業務において、今後も3密による感染リスクを避け、安全な広告制作現場を確保することが重要な対策となることになりありません。

当協会から昨年4月に発信した「ガイドライン」は、広告制作の現場において、制作業務従事者の感染リスクを抑えるために策定されました。会員社の皆様にはガイドラインを遵守いただき、広告主、協力会社の皆様との協議をいただき、感染拡大の防止に向けてご協力いただいたことを御礼申し上げます。

この1年は制作現場においても、ガイドラインに基づき、新しい技術や手法をお互いに検討しながら、アイデアを駆使した新しい制作業務の在り方が模索されてきました。様々な手法により生み出された新しいクリエイティブも世の中に広がってきています。今回発出された緊急事態宣言下においても、撮影を伴う企画は極力避け、もし実施する場合も、広告主様との十分な話し合い・ご了解のもと感染防止対策を万全にとったうえ様々な社会的なレピュテーションリスクも考慮し、「多人数」「長時間」を避け、昨年来積み重ねてきた感染拡大リスクを最小限とする技術や手法を駆使して制作業務を進めていくべきと考えます。

制作現場の安全を確保しつつ、最適な広告コミュニケーション活動を継続することは、我々広告に関わる者すべての社会的責務です。貴社におかれましても、今後ご理解ご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

=====以下、昨年発信「ガイドライン」を一部改訂=====

■新型コロナウイルス感染拡大期における安全な広告制作ガイドライン 2021

- (1) 緊急事態宣言発令中は、広告主と協議のうえ、撮影を伴う企画は関係者すべての合意のもと、撮影・制作現場に参加するすべての方に意思確認をとり慎重に行うものとする。
- (2) 撮影を伴わない企画、あるいは「3密」を避け感染リスクを最小限にした撮影による企画・手法を積極的に採用する。実施する場合も、関係するスタッフの安全を最大限確保する。
- (3) 「3密」が避けられない撮影を前提とする企画は、よりリスクが低減される手法への変更（別撮と合成、CG等）、撮影の延期、規模縮小等を協議する。
- (4) 撮影などの制作現場での飲食は極力控え、可能な限り十分な注意を払う。

- (5) PPM、編集作業など、オンラインで可能なプロセスはリモートで行うことを要請する。
- (6) 感染リスク回避策に伴う、スケジュールの変更、費用の変更については、広告主、広告会社双方が理解をもって協議する。

以上